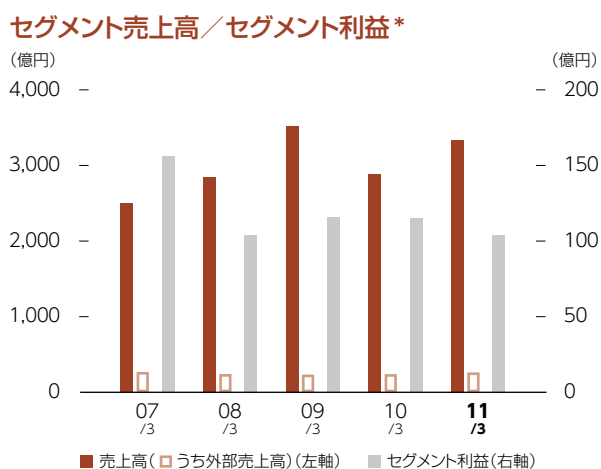


セグメント別事業概況

電力周辺関連事業



* 2007年～2009年3月期は営業利益を、
2010年～2011年3月期は経常利益を表示しています。

業績ハイライト

当期は、連結子会社の当社向け石炭販売収入の増加などにより、売上高は、前期比16%増加の3,346億円となりました。セグメント利益は、売上原価の増加により、前期比10%減少の104億円となりました。



炭鉱プロジェクト

(2011年6月末現在)

炭鉱名	所在地	積出港	生産規模	取得権益	出炭開始年
ブレアソール炭鉱	クイーンズランド州	ダーリンブルベイ港	約1,000万t/年	10%	1984年
エンシャム炭鉱	クイーンズランド州	グラッドストーン港	約600万t/年	10%	1993年
クリアモント炭鉱	クイーンズランド州	ダーリンブルベイ港	約1,200万t/年	15%	2010年
ナラブライ炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	約600～700万t/年	7.5%	2010年

(注) 連結子会社であるJ-POWERオーストラリア社を通じて出資しています。
生産規模はピーク時の数値です。

事業の概要

電力設備の設計・施工・点検保守や、石炭の輸入、自社専用船を活用した石炭輸送など、発電所や送・変電設備の運営に必要な周辺事業を展開して、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートしています。

国内卸電気事業の電力設備は子会社と一体化して保守を行っています。また、火力発電用の石炭を長期にわたって安定調達するため、子会社を通じてオーストラリアの4つの炭鉱に出資を行い、炭鉱開発に参画しています。

事業の見通し

エネルギー資源は、中国やインド等での需要拡大や中東情勢の不安定化により、世界的に需給が逼迫し、価格も高騰傾向にあります。このため、炭鉱権益など上流部分での関与を拡大し、多様な調達ソースを確保することで、石炭の安定調達を図っていきます。



クリアモント炭鉱